品質･環境方針

当社は経営理念に基づき、美しく快適な空間を実現するために、確かな品質の製品とサービスをお客様に提供することで社会に貢献します。

１．生産から施工に至る顧客の要求品質を満たす製品を、安定して供給します。

２．関連する法律、規則、その他協定など、要求事項を厳守するとともに、自主基準を設定し対処します。

３．事業活動、製品に係る主要な環境影響を考慮し、技術的、経済的に可能な範囲で、目的・目標を設定し、マネジメントレビューをしながら方針、目的・目標を含むマネジメントシステムの継続的改善と汚染の予防及び環境保護に努めます。

４．以下の項目を品質･環境の管理重点テーマとします。

品質面		環境面	
テーマ	対象部署	テーマ	対象部署
クレーム件数の削減	総務を除く全部門	廃棄物の削減	全部門
空間や都市景観にとって 優れた製品の提供	営業部門	材料歩留まりの向上	生産部門
カタログ・web サイトの品質向上	販促企画部	省梱包化の推進	生産部門

５．品質･環境に関する、教育やコミュニケーションを徹底し、全社員への方針の徹底と理解を図り、環境に対する意識を高めます。

６．方針は広く社会に公開します。

2010 年 11 月 17 日
改定　2023 年 06 月 01 日
カツデン株式会社

代表取締役

坂田清茂

品質・環境方針　趣意

1958 年アンテナの製造販売事業から創業以来、手すりを中心としたアルミ建材ママシリーズを業界に先駆けて提案した。その後もバルコニー、らせん階段などそれまでスチールで作られていた外装部品をアルミ化に成功し、その技術を活かして大手ハウスメーカーへの提案を進め手すり以外の周辺部品への事業拡大を進めた。
2003 年に分社してからはさらに室内階段事業に進出し、今まで無かった新しい分野を開拓していくと言う文化を活かして事業を進めている。
ところが、品質や環境面への配慮は個人プレーに依存しているのが実情で、会社全体の組織だった仕組みは置き去りになっていた。
優秀な品質管理担当者や、品質意識の高い工場長がいるときは良いが、そうでなくなるとたちまち事業存続の危機になる大きな損害を背負い込むようなクレームを引き起こす。
環境面も同様で、どんどんゴミが増え、電気やガソリンを使い平気な顔をしている。
これでは、会社の体制として「おかしい」と疑問を感じた。
「品質や環境を常に意識していく会社全体としての文化を形成しなければならないのだ。」
結論としてこれを達成すべく、ISO9001 と同 14001 を取得することとした。

ISO9001、14001 規格は品質・環境をより良くするための仕組みが完璧に近い形でできている。そして今までのような個人に頼ることなく全社で取り組む仕組み、仮に問題が発生してもそれを是正する仕組み、さらには第三者である審査機関がそれをチェックする仕組みである。

具体的には、
１．お客様に感動を与える、喜んでいただく製品やサービスの提供ができなければ生き残れない。
２．最近の事件からも解るように、これからの企業はお客様、地域の方々に決め事（法律、条令、地域協定など）の違反や隠し事は厳禁で、このような企業風土を作っていく必要がある。

４．管理重点テーマについては何点か述べる。
当社は経営理念である「美しく快適な住空間づくり」をするために、主に意匠性を持った仕上げ部品を製造している。その結果キズに対する過剰反応で、どうしても梱包を過剰にする風土がある。例えば 1000 回に１回あるキズを無くすために、ダンボールやテープで覆うといったことである。我々から出た梱包資材は全てゴミとなり、地球環境に悪影響を及ぼしている。従って、特にこの梱包資材を削減する事を重点テーマとしてあげた。
又、当社が扱っている金属材料は、日本国内で採掘できるものではなく、全世界から調達し多くの人手とエネルギーを使って、時には危険と隣り合わせの工程を経て納入されている。その貴重な材料を無駄に使ってはならないという精神から、材料歩留まりを上げる設計や生産をしなければならない。

５．全社員が集まる改善活動発表会などで、品質・環境に関する教育や情報交換をする時間を設ける。

６．この方針はホームページで公開し、さらにサイボウズでいつでも閲覧できるような体制を作る。

最後に、地球環境に配慮した事業展開も、経営理念に則って進めなければならない。
美しい国土、美しい地球を作るために、私たちは、この ISO の精神を熟知して、未来永劫この活動に取り組んでいく決意である。